

＝ 病院の理念 ＝
人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 456 2022年 8月号
〔毎月5日発行〕
〔定価1部20円〕
発行 東京勤労者医療会東葛病院
院長 井上 均
〒270-0153 千葉県流山市中102-1
TEL 04 (7159) 1011(代)
FAX 04 (7158) 9202
http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/

ACP(アドバンスケアプランニング)とは

東葛の医療 倫理委員会

人生の最終段階の「意思」を支援する



根本玲子医師

今月号は東葛病院産婦人科医師で病院倫理委員会委員長の根本玲子医師が「ACP(人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス)」についてお話しします。

本人の意志を支援

ACPとは、近年メディア等で言われている「人生会議」のことです。詳しく言うと「将来の変化に備え、将来の医療・ケアについて、本人を主体に、その家族等及び医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、本人の意思決定を支援するプロセス」のことです。

平成20年ごろは「終末期医療」と呼ばれていましたが、そのあり方が変遷する中で、平成30年4月、厚生労働省はその名称を「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス(ACP)」に改めました。

日本国民の平均寿命



は男性81・3歳、女性は87・3歳、男女合わせると84歳になり、世界第一の長寿国です。高齢化率も上昇し、現在の約28%から、今後は40%くらいまで進むと推測されています。この状況に対応するために日本では、市町村単位で住み慣れた地域で暮らしながら、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築することが目指されています。その構築により、重度の要介護状態になっても住み慣れた

地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるかと考えられています。日本は健康寿命も世界一と言われていますが、死は人間に平等に与えられており、誰もが避けられなくなり、国が平成29年度に施行した「人生の最終段階における医療に関する意識調査」では一般国民の約55%は、自分の死が近づいた場合の医療について、家族等と全く話していないことが示されています。また、人生の最期を

迎えたい場所については、69・2%が自宅を希望しています。多くの国民が望む自宅での最期を叶えるために重要となるのはやはり、地域包括ケアシステムの適切な運用です。地域の中で、各部門とスムーズに連携を取ることで、患者・家族が自宅での医療・介護の道筋を見出し、いくことができるのではないのでしょうか。もちろん在宅医療の充実も不可欠です。

ランニングが大好きで、週末の晴れた日はよく近所の土手を走る▼川沿いのグラウンドでは、朝から野球やサッカーチームの子どもの元気な声が響いている▼そしてその声をかき消すようにコーチの怒声が飛ぶのが決まりの光景だ▼指導の一環なのだろうが、失敗を非難するような内容が多く、正直あまり良い気分がしない▼近年、スポーツ会の体罰やハラスメントが問題となり、あからさまな

ACPPの重要性
一概に在宅医療と言っても、個人個人の疾患内容・家族状況・社会背景などを考慮するため、その内容は個人で異なります。そしてそこで重要になるのがACPなのです。疾病を抱えながらどのように生きていか、そしてどのような最期を迎えたいか、その希望に寄り添いながら、医療・介護内容を組み立てていくからです。

ACPPは本人の意思決定を支援するプロセスなので、ACPの定型文書があるわけではありません。本人の意思は、病状や周囲の状況に伴って変化し得る

内容としては、心臓マッサージや人工呼吸器装着、経管栄養などの一般的な延命措置の希望の有無、ACPにも役立つ情報として、本人の嗜好や考えなどを記載する部分も含まれています。署名は後でもいいので、外来通院されている方は担当の先生に文書を印刷してもらい、是非、内容を確認していただきたいです。もちろん入院中にも印刷できるので、ご希望があれば声を掛けて下さい。

聴診器



「言葉の暴力」は残っており、問題

身体的暴力は激減したが、依然として指導という名の「言葉の暴力」は残っており、問題の本質は変わっていないと感じる▼本来スポーツはプレイ(遊ぶ)、楽しむものであり、身体的・精神的苦痛を伴う指導は相容れないはず▼そして、何より体罰は人権侵害である。それでもまだ信頼関係があれば良いのではと、指導者側から体罰容認の音が聞かれる▼恐怖で相手をコントロールすることが本当に教育的と言えるだろうか▼体罰ではなく、対話で主体性を引き出す、そんな教育が根付くことを願う。(加)